



平成22年12月6日

卓話 『日本のおかげで…Part II』

ファッション・エッセイスト

フランソワーズ・モレシャン 様

皆さまこんにちは。前回の卓話から2年半の間に世界はまた大きく変わり、今では本当に日本、フランス、アメリカとか言えないぐらいになりました。

グローバル化、フランス語でグローバリゼーションのせいで世界はますます混沌の状態に入りました。経済的にも精神的にも。

若者たちは混沌の中で右、左、上、下とかの価値基準が分からなくなりました。今の時代、さまざまな流行だけで生きていく子どもが多いのですが、流行のサイクルも早くなって、1月に流行ったものは3月になるともう時代遅れ。これでは本当に若者たちの心に、しっかりした芯、背骨を作ることができるとも心配になります。

もうひとつ気になるのは、今、若者たちが情報を伝えたいとき、携帯メールやフェイスブック、そしてツイッターです。私はPCからのメールは使いますが、他のツールは利用しません。そうすると今の時代では大事な情報も、貰うことができなくなってしまいます。私の関係しているフランス発のボランティア活動でも、若者たちはアフリカなどでの現地の状況をフェイスブックやツイッターで伝えてきます。私は事務局に普通のメールでも送ってもらうようお願いしたのですが、「ツイッターはやっていないのですか！」ってびっくりされてしまいました。それちょっと問題ですね。年齢のことだけでなく、私たちの世界は変わるスピードが速すぎて落ち着く時間がありません。より簡単に、より速く…ばかりで、重みがどんどん無くなってしまいます。

私たちの世代がいなくなったら、どういふ世界になるのだろう…と思うと少し怖いですね。じゃあどうすればいいのでしょうか。

技術の進歩だけでなく、やっぱり文化が大切なのだと思います。人生でなにが大事で、何に感動するのか…そんなことを考える能力を養う文化です。意味がある文化と言えよいのでしょうか、美学的な意味、哲学的な意味で。

哲学という意味では宗教も大事です。特に日本の神道は私も少し勉強したのですが、素敵で素晴らしい哲学です。神様は木の中にいらっしゃる。川にも山にも住んでいらっしゃる。自然の中に神様がたく

さんいらっしゃるのです。神道は日本のアイデンティティの一つですね。

世界に対して神道を通じた考え方、日本が誇る哲学をもっと示すべきだと思います。何故かという、今、世界の権力バランスはアメリカやヨーロッパだけでなく、アジアの方へ行ってしまいました。特に経済力と人口の多さで新しく台頭する国々があります。発展のために暴走もしないかとちょっと心配にもなります。そういう状態の中で、私たちは自分のアイデンティティを世界に広めていかないと負けてしまうかもしれません。この神道の哲学とか、日本が培ってきた伝統や文化がなければ、技術と経済だけでは世界のリーダーになることが出来ない時代です。環境のためにも神道は素晴らしい思想です。自然界に存在する神様をいじめることができないから、川はきれいでなきゃいけない。木にも神様が宿っているのだから、必要ではないとき伐らないように…。そんな精神をもって、日本は世界に向かって環境のためにリーダーシップ取るべきですね。

日本の美意識、日本のライフスタイルは自信を持って世界に紹介できます。21世紀のために日本の昔からのライフスタイルは極めて合理的です。茶室にしても庭園にしても、美的文化の裏に哲学や精神があります。茶道、合気道、なんでも哲学的な「道」がありますね。生け花もそうですが、文化が精神の癒しなのです。落ち着きが出ますね。それは世界に平和的な環境を作るための文化です。

日本の文化を世界に広めるとは壮大なプロジェクトですね。日本の昔の文化は外国人にとっては日本人が考える以上に重みがあるのです。世界の21世紀のライフスタイルのために、是非日本の文化を世界に発信して欲しいのです。よろしくお願ひします。ありがとうございました。

